

みやこ しもへい  
宮古・下閉伊の森林・林業



令和6年 12月

岩手県沿岸広域振興局農林部  
宮古農林振興センター林務室



## 目 次

1	地域の概要	1
2	地域の森林資源	2
3	森林の整備	
(1)	造林	4
(2)	間伐	4
4	公有林等	
(1)	県有林	5
(2)	市町村及び財産区有林（直営林）	5
(3)	森林総合研究所森林整備センター（分収造林）	5
5	路網整備	6
6	森林保全	
(1)	保安林	7
(2)	治山	7
(3)	林地開発	8
7	森林保護	
(1)	森林病虫害被害	8
(2)	林野火災	9
8	林産物	
(1)	素材生産	10
(2)	木材の流通・加工	10
(3)	木材利用の促進	11
(4)	木質バイオマス利用の促進	12
9	特用林産物	13
10	森林組合・生産森林組合	14
11	森林の保健・文化・教育的利用	14

### トピックス

1	宮古市刈屋地区等林野火災の復旧対策	15
2	原木しいたけ生産振興の取組	16
3	岩泉町における畑わさび生産振興の取組	17

# 1 地域の概要

- 宮古農林振興センター林務室が所管する宮古・下閉伊地域は、本県の沿岸部のほぼ中央、本州の最東端に位置し、西部は北上山系にまで至る東西 63 km、南北 65 kmの広い面積を有する地域であり、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の 1 市 2 町 1 村で構成されています。  
総面積は 267,051ha で、東京都の約 1.2 倍に相当する広さを有し、本県総面積の 17%を占めています。
- 東の海岸線にはリアス海岸の壮大な景観が広がり、残る三方は北上高地の山々が連なり、その美しい溪谷をぬうように閉伊川、小本川などの河川が太平洋に向かって流れています。  
また、南北に走る北上高地からの支脈が東に伸び海岸線まで迫っているため、地域全体が山地又は高原状の準平原で占められ、平野部は極めて少なくなっています。
- 恵まれた自然環境から沿岸部は三陸復興国立公園に、山間部は早池峰国定公園や外山早坂高原県立自然公園などに指定され、多くの県民や観光客が四季の折々に訪れています。



## 2 地域の森林資源

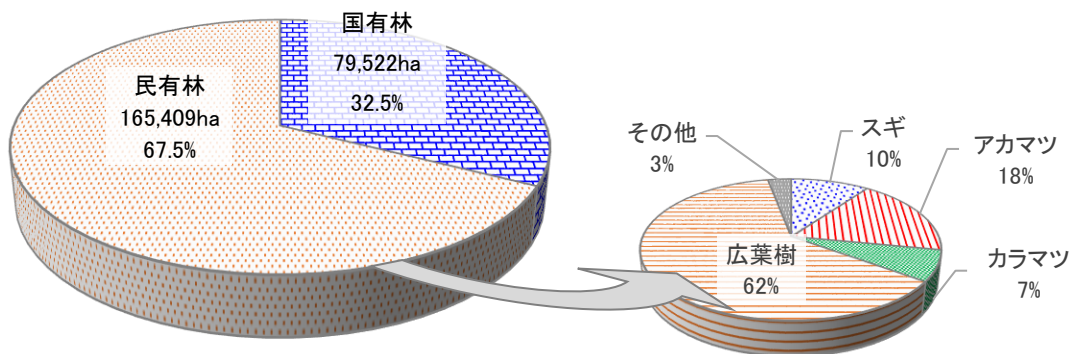
- 管内の森林面積は、244,932ha と県全体の 21%を占めており、森林率は 92%と県内で最も森林の割合が高い地域です。
- 森林面積の内訳は、民有林は 68%、国有林は 32%となっており、県平均 67%と同程度の民有林率となっています。
- 民有林の樹種別面積の構成は、広葉樹が 62%、アカマツ 18%、スギ 10%、カラマツ 7%となっており、県全体と比較し広葉樹が多く、針葉樹の中ではアカマツの占める割合が高くなっています。
- 広葉樹を中心とした天然林が多いことから、民有林の人工林率は 33%と、県平均の 42%を下回っています。このうち、間伐を要する 16~50 年生の人工林が約 5 割を占めています。
- 保有山林 1 ha 以上の林家数は、3,909 戸で、その保有山林面積が 55,119ha と民有林の 33%を占めており、1 戸あたりの保有山林面積は県平均を上回っています。

【表-1】森林面積・蓄積

区分	区域面積 (ha)	森林面積 (ha)			森林率 (%)	民有林					
		国有林	民有林	計		蓄積 (千m <sup>3</sup> )			蓄積 (m <sup>3</sup> /ha)	人工林面積 (ha)	人工林率 (%)
						針葉樹	広葉樹	計			
宮古市	125,915	32,998	82,379	115,377	91.6	8,550	8,180	16,730	145	27,063	32.9
山田町	26,281	13,862	9,933	23,795	90.5	1,980	827	2,807	118	4,289	43.2
小計	152,196	46,861	92,312	139,172	91.4	10,530	9,007	19,537	140	31,352	34.0
岩泉町	99,236	31,031	61,299	92,330	93.0	6,254	5,945	12,199	132	19,966	32.6
田野畑村	15,619	1,630	11,799	13,429	86.0	1,232	1,220	2,452	183	3,623	30.7
小計	114,855	32,661	73,098	105,759	92.1	7,486	7,165	14,651	139	23,588	32.3
管内計	267,051	79,522	165,409	244,932	91.7	18,016	16,172	34,188	140	54,940	33.2
県計	1,527,501	390,129	781,718	1,171,847	76.7	133,266	59,906	193,171	165	324,586	41.5

資料：令和 4 年度版岩手県林業の指標（農林水産企画室）

注：合計値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。



【図】管内の森林資源と民有林樹種別面積割合

【表-2】民有林人工・天然別、樹種別内訳

(単位：面積 ha、蓄積：千m<sup>3</sup>)

区分		人工林					天然林				その他 林地	合計
		スギ	アカマツ	カラマツ	その他	小計	アカマツ	その他 針葉樹	広葉樹	小計		
宮古市	面積	9,635	10,775	6,136	517	27,063	1,761	3	51,229	52,993	2,323	82,379
	蓄積	3,697	3,254	1,357	86	8,394	598	1	8,388	8,987	0	17,381
山田町	面積	2,357	1,779	105	48	4,289	476	0	4,748	5,224	420	9,933
	蓄積	1,156	668	28	7	1,859	197	0	836	1,033	0	2,892
小計	面積	11,992	12,554	6,241	565	31,352	2,237	3	55,977	58,217	2,743	92,312
	蓄積	4,853	3,922	1,385	93	10,253	795	1	9,224	10,020	0	20,273
岩泉町	面積	3,059	10,948	5,624	335	19,966	984	0	38,496	39,480	1,853	61,299
	蓄積	1,240	3,453	1,434	64	6,191	347	0	6,119	6,466	0	12,657
田野畑村	面積	857	2,281	321	164	3,623	527	0	7,264	7,791	385	11,799
	蓄積	291	704	82	32	1,109	184	0	1,245	1,429	0	2,538
小計	面積	3,916	13,229	5,945	499	23,589	1,511	0	45,760	47,271	2,238	73,098
	蓄積	1,531	4,157	1,516	96	7,300	531	0	7,364	7,895	0	15,195
管内計	面積	15,908	25,783	12,186	1,064	54,941	3,748	3	101,737	105,488	4,981	165,410
	蓄積	6,384	8,079	2,901	189	17,553	1,326	1	16,588	17,915	0	35,468
県計	面積	143,226	110,549	62,223	8,588	324,586	36,655	644	387,663	424,962	32,169	781,717
	蓄積	67,738	36,298	14,649	1,612	120,296	13,035	460	59,380	72,875	0	193,171

資料：令和6年度資源構成表（管内）及び令和4年度版岩手県林業の指標（県計）

注1：合計値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

注2：管内計は令和6年度森林資源構成表を適用しているため、表1と一致しない場合がある。

【表-3】林家数及び保有山林面積

区分	林家数 (戸)	保有山林面積 (ha)	1戸あたり保有 山林面積(ha/戸)
宮古市	1,862	26,071	14.0
山田町	589	4,251	7.2
小計	2,451	30,322	12.4
岩泉町	1,111	20,620	18.6
田野畑村	347	4,177	12.0
小計	1,458	24,797	17.0
管内計	3,909	55,119	14.1
県計	32,217	356,506	11.1

資料：2020年世界農林業センサス（農林水産省）

### 3 森林整備

#### (1) 造林

- 管内の民有林の造林面積は、昭和44年度の2,790haをピークに減少傾向となり、近年は50ha前後と、ピーク時の1/50程度にまで減少しています。
- 木材価格の低迷、世代交代等により、森林所有者の経営意欲が低下しており、伐採跡地への再造林が課題となっています。県では、再造林時の所有者負担軽減を図るため、補助事業による支援を行うほか、低密度植栽等の低コスト施業を促進しています。

【表-4】造林面積の推移

(単位：年度、ha)

区分	S44	S50	S60	H18	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
宮古市	1,120	976	480	5	28	25	17	27	32	27	24	5	21	13
山田町	169	137	60	3	1	2	2	1	3	3	21	13	5	14
小計	1,289	1,113	540	8	29	27	19	28	35	30	45	19	27	27
岩泉町	1,233	701	255	28	6	11	13	-	-	8	22	28	27	23
田野畑村	268	111	49	1	-	2	3	1	3	-	3	2	3	1
小計	1,501	812	304	29	6	13	16	9	16	19	25	31	29	24
管内計	2,790	1,925	844	37	35	41	35	37	51	49	70	50	56	51
県計	13,555	9,534	4,220	644	733	792	881	876	962	987	993	1,103	891	934

資料：県森林整備課

注：合計値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

#### (2) 間伐

- 零細な所有者が多いことや、林業採算性の悪化等により森林所有者の森林整備に対する意欲が低下していること等から、間伐の遅れた森林が増えています。
- 県では、施業の集約化による間伐の推進に取り組むとともに、平成18年度からは、いわての森林づくり県民税を活用し、森林所有者自らが間伐を行うことが困難で、公益上緊急に整備を必要とする森林を対象に、強度間伐（混交林誘導伐）を実施するなど、補助事業による支援を行っています。

【表-5】間伐実施面積・利用率

(単位：年度、面積 ha、割合%、材積 $m^3$ )

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
宮古市	211	196	281	270	233	185	173	311	364
山田町	60	79	86	23	39	59	27	50	68
小計	271	272	367	294	272	244	200	361	432
岩泉町	390	378	286	238	407	418	472	531	377
田野畑村	42	50	57	65	89	50	46	54	46
小計	432	428	343	302	496	468	518	585	423
管内計	703	700	710	596	768	712	718	946	856
利用率	13	33	29	33	27	28	30	37	73
(推計利用材積)	(2,988)	(7,362)	(9,041)	(8,903)	(8,427)	(7,688)	(8,855)	(15,478)	(18,630)
県計	5,184	5,210	4,446	4,010	4,124	4,210	4,228	4,129	3,478
利用率	42	40	40	42	42	42	43	43	49
(推計利用材積)	(72,945)	(68,594)	(69,506)	(97,091)	(80,450)	(68,200)	(79,225)	(68,355)	(83,581)

資料：県森林整備課

注：合計値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

## 4 公有林等

### (1) 県有林

- 管内では、県有模範林1事業区891ha（高須賀事業区：岩泉町）、県行造林246事業区9,397ha及び公営林355事業区11,138haを管理しています。
- 基金条例に基づく県行造林は、造成目標の6万haを平成12年度までに達成したことから新規造成を終了し、現在は、除・間伐等の保育を行っています。
- 公営林は、県北地域の森林造成と雇用創出を目的に昭和39年に設立され、平成19年で解散した(社)岩手県林業公社に係る分収林を県が引き継ぎ、管理しています。

【表-6】 県有林の現状（令和3年3月末現在）（単位：箇所、面積 ha）

区分	経営面積						経営面積 (全県)
	宮古地区		岩泉地区		管内計		
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	
模範林	—	—	1	891	1	891	5,500
県行造林	旧県行	—	—	—	—	—	892
	水源林	4	883	1	39	5	8,894
	新県行	122	5,912	112	2,336	234	38,054
	特殊材備蓄林	1	42	6	185	7	1,118
	小計	127	6,836	119	2,560	246	48,947
公営林	公営林	175	5,645	178	5,469	353	24,561
	公益保全林	—	—	2	24	2	151
	小計	175	5,645	180	5,493	355	24,712
合計	302	12,481	300	8,944	602	21,425	79,159

資料：令和4年度版岩手県林業の指標（農林水産企画室）

注：合計値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

### (2) 市町村有林・財産区有林（直営林）

- 市町村有林は、4市町村で6,108ha、財産区有林（分収造林等は除く。）は、4財産区で4,794haで、合わせて10,902haとなり民有林の約7%を占めています。

【表-7】 市町村及び財産区有林の現状（直営林）（単位：ha）

区分	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	管内計	県計
市町村有林	1,193	757	3,616	542	6,108	57,269
財産区有林	3,392	—	1,402	—	4,794	8,396
合計	4,585	757	5,018	542	10,902	65,664

資料：令和4年度版岩手県林業の指標（農林水産企画室）

### (3) (国研)森林研究・整備機構 森林整備センター水源林（分収造林）

- 森林整備センター（旧森林開発公団）による分収造林の経営面積は、6,855haで民有林人工林面積の約12%を占めています。

【表-8】 森林整備センター水源林の現状（令和5年3月末現在 現況面積）（単位：ha）

市町村	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	管内計	県計
面積	2,500	—	4,355	—	6,855	21,298

資料：盛岡水源林整備事務所



## 5 路網整備

- 管内の民有林における林道総延長は 771 km で、公道と合わせた林内道路密度は、12.0m/ha です。  
また、作業道・作業路を含めた林内路網密度は 20.3m/ha で、県平均の 26.5m/ha を大幅に下回っています。
- 効率的な林業経営の展開、森林の適正な維持管理の推進及び山村地域の生活環境向上などを図る上で、林内路網の一層の整備が重要な課題です。

【表-9】林内路網整備状況（令和5年度末現在）

区分	林道開設		林内道路		林内路網	
	延長(m)	密度(m/ha)	延長(m)	密度(m/ha)	延長(m)	密度(m/ha)
宮古市	388,414	4.7	923,966	11.2	1,013,165	12.3
山田町	38,440	3.9	153,136	15.4	192,747	19.4
小計	426,854	4.6	1,077,102	11.7	1,205,912	13.1
岩泉町	309,255	5.0	711,884	11.6	977,125	15.9
田野畑村	34,657	2.9	198,566	16.8	238,899	20.2
小計	343,912	4.7	910,450	12.5	1,216,024	16.6
管内計	770,766	4.7	1,987,552	12.0	3,354,120	20.3
県計	4,543,695	5.8	13,112,176	16.8	20,712,387	26.5

資料：県森林保全課

注：作業道開設の市町村別延長は H12 から調査であり市町村毎に累計していないため、林内路網の市町村計と管内計は一致しない。（林内路網の管内計、県計は H11 以前の実績を含んだ延長）

【表-10】年度別林道開設実績

区分	R 1		R 2		R 3		R 4		R 5	
	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)
宮古市	-	-	-	-	1	-	1	0	-	-
山田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	-	-	-	-	1	-	-	0	-	-
岩泉町	2	232	2	950	2	950	1	120	-	-
田野畑村			1	728	1	728	1	0	1	176
小計	2	232	3	1,678	3	1,678	2	-	1	176
管内計	2	232	3	1,678	4	1,678	3	120	1	176
県計	-	3,831	-	4,776	-	6,544	-	26,317	-	3,938

資料：県森林保全課

注：林道開設は、森林基幹道、森林管理道、林業専用道、森林施業道の計

注：延長には未完成延長は含まない。

【表-11】年度別作業道開設実績

区分	R 1		R 2		R 3		R 4		R 5	
	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)
宮古市	2	4,050	3	971	0	0	1	1,236	1	2,324
山田町	1	1,700	11	5,672	7	2,255	5	3,810	14	6,686
小計	3	5,750	14	6,643	7	2,255	6	5,046	15	9,010
岩泉町	12	16,912	9	18,563	10	22,719	6	16,258	2	1,879
田野畑村	1	1,675	3	4,712	1	500	2	3,000	4	3,337
小計	13	18,587	9	23,275	11	23,219	8	19,258	6	5,216
管内計	16	24,337	23	299,18	18	25,474	14	24,304	21	14,226
県計	67	120,560	73	103,228	74	99,756	48	76,450	56	78,032

資料：県森林整備課

## 6 森林保全

### (1) 保安林

- 水源のかん養、災害の防止、環境の保全、その他公益的な目的達成のため指定されている管内における民有林の保安林面積は 24,510ha で、民有林面積の 14.8%を占めています。
- 当地域は、急峻な地形が多いため土砂流出・崩壊防備保安林の割合が高く、また、三陸海岸を擁していることから魚つき保安林の割合が高くなっています。

【表-12】民有林の保安林指定面積（令和5年度末現在）（単位：ha）

区分	水源かん養	土砂流出	土砂崩壊	魚つき	その他	合計
宮古市	8,039	3,711	561	813	306	13,430
山田町		96	16	171	76	359
小計	8,039	3,807	577	984	382	13,789
岩泉町	2,274	6,768	1,103	34	88	10,267
田野畑村	250	55	12	116	21	454
小計	2,524	6,823	1,115	150	109	10,721
管内計	10,563	10,630	1,692	1,134	491	24,510
県計	103,870	29,315	3,143	3,030	4,365	143,723

資料：県森林保全課

注：端数処理の関係から合計が合わない場合がある。兼種保安林面積は重複している。

### (2) 治山

- 当地域は、急峻な地形が多いこと等から山地災害危険地区が 769 箇所と多く、また、台風等による大雨災害が近年頻発していることなどから、人命や生活基盤を山地災害から守るため、治山事業の計画的な実施が求められています。
- 山地災害危険地区における治山施設整備状況について、令和5年度末における管内の整備着手率は 47.9%と、県全体の整備着手率 55.8%に比べ 7.9 ポイント下回っている状況です。

【表-13】民有林の治山事業実績（単位：年度、箇所）

事業名	H30	R1	R2	R3	R4	R5
山地治山	2	7	7	8	4	6
保安林整備			1		1	
水土保全治山						
水源地域緊急整備						
災害関連緊急治山	2			3		
保安林管理道整備						
防災林造成	3	1				
林地荒廃防止施設	1					
県単治山		1	4	1	1	
県単施設災	1					
管内計	9	9	12	12	6	6

資料：宮古農林振興センター林務室

注：維持修繕を除く。

### (3) 林地開発

- 森林を無秩序な開発から守り、林地の保全と適正な利用を確保することにより、森林の公益的機能を維持するため、防災施設の設置、残置森林の適正な配置や土地・環境の保全などに配慮しながら許可及び協議などの指導を行っています。

【表-14】林地開発許可・協議実績

(単位：件、ha)

区分	許可			協議		
	4年度まで	令和5年度	計	4年度まで	令和5年度	計
住宅用地造成	(1) 2	-	(1) 2	(1) 2	-	(1) 2
工場・事業場用地造成	(7) 108	(2) 35	(9) 143	(1) 3	-	(1) 3
レジャー・運動施設用地	-	-	-	-	-	-
農用地(草地含む)	-	-	-	-	-	-
土石の採掘	(16) 95	(11) 69	(27) 164	-	(13) 86	(13) 86
その他	-	-	-	(59) 364	-	(59) 364
管内計	(24) 205	(13) 104	(37) 309	(61) 369	(13) 86	(74) 455

資料：宮古農林振興センター林務室

注：合計値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

## 7 森林保護

### (1) 森林病虫害被害（ナラ枯れ被害）

- 平成 22 年に奥州市で初めて確認されたナラ枯れ被害は、沿岸部では平成 25 年に大船渡市で確認され、その後被害が北上し、令和 5 年 10 月には洋野町で確認されました。
- 管内では、平成 28 年に宮古市重茂半島及び山田町船越半島において初めて被害が確認され、令和元年には管内全市町村で被害が確認されるなど、被害が拡大していることから、被害木の駆除等を行っています。
- また、平成 29 年に管内の国有林・民有林の関係機関による「宮古・下閉伊地区ナラ枯れ被害対策連絡会議」を設置し、被害情報の共有を図りながら、効果的な防除の検討を行っています。

【表-15】ナラ枯れ被害の状況

(単位：年度、㎡)

区分	H23	H25	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
宮古市	-	-	1,339	732	673	1,488	1,094	1,133	267
山田町	-	-	684	570	277	394	68	74	44
小計	-	-	2,023	1,302	950	1,882	1,162	1,207	311
岩泉町	-	-	-	-	14	183	1,007	562	370
田野畑村	-	-	-	15	190	329	439	577	331
小計	-	-	0	15	204	512	1,446	1,139	701
管内計	-	-	351	2,023	1,317	1,154	2,608	2,340	1012
県計	6	758	6,231	2,145	2,854	5,021	4,950	4,235	2,474

資料：県森林整備課



【写真】

- 左：重茂半島の被害 (H30. 9)
- 右：被害木の根本に散乱した木くず(フラス)

## (2) 林野火災

- 令和6年4月、宮古市刈屋地区で発生した林野火災は、187haを焼失しました。
- 管内では、過去に昭和36年のフェーン火災、昭和58年の異常気象火災等の激甚災害級の大火が発生しているほか、平成23年には東日本大震災により発生した火災が森林に延焼し、大規模な林野火災となりました。

【表-16】大規模林野火災

(単位：ha)

年次	名称等	総焼失面積	管内焼失面積	被災区域(市町村)
昭和36年	三陸フェーン火災	51,291	29,249	宮古市、山田町、田老町、岩泉町、新里村、田野畑村
昭和58年	異常気象火災	3,396	1,626	岩泉町
平成23年	東日本大震災津波	807	132	宮古市、山田町
令和6年	宮古市刈屋地区等林野火災	187	187	宮古市

- 林野火災の発生原因は、たき火、野焼きによるものが多く、発生時期は3月から5月に集中しています。

【表-17】年次別林野火災発生状況

(単位：面積 ha)

区分	H 30		R 1		R 2		R 3		R 4		R 5	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
宮古市	2	25.34	7	3.43	0	0.00	0	0.00	1	0.81	3	0.27
山田町	0	0.00	0	0.00	1	0.26	1	0.01	1	0.11	1	0.05
小計	2	25.34	7	3.43	1	0.26	1	0.01	2	0.92	4	0.32
岩泉町	3	21.01	2	0.02	1	0.08	1	0.30	1	4.82	0	0.00
田野畑村	0	0.00	0	0.00	1	0.09	0	0.00	1	0.56	0	0.00
小計	3	21.01	2	0.02	2	0.17	1	0.30	2	5.38	0	0.00
管内計	5	46.35	9	3.45	3	0.43	2	0.31	4	6.30	4	0.32
県計	33	57.24	59	8.81	38	14.74	26	3.00	30	10.29	28	4.09

資料：県消防安全課調べ（県山火事防止対策推進協議会資料）

注：面積は全火災における林野の焼損面積（17ル未満四捨五入）

- 県及び県緑化推進委員会下閉伊地区協議会では、「宮古・下閉伊地区山火事予防ポスターコンクール」を開催し、住民一人ひとりの山火事予防意識の向上を図っています。

### 第38回宮古・下閉伊地区山火事予防ポスターコンクール最優秀作品



【小学校低学年の部】  
岩泉町立釜津田小学校  
3年 佐々木 優



【小学校高学年の部】  
宮古市立津軽石小学校  
5年 佐々木 優惺



【中学校の部】  
岩泉町立岩泉中学校  
2年 佐々木 欣

## 8 林産物

### (1) 素材生産

- 令和4年の管内の素材生産量は、216,788 m<sup>3</sup>で、県全体の15%を占めています。
- このうち広葉樹生産量は43,885 m<sup>3</sup>と、県全体の24%を占めており、その大部分が製紙用原料に利用されています。

【表-18】素材生産量（推定）の推移 (単位：年次、m<sup>3</sup>)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
民有林	針葉樹	107,368	116,553	86,345	100,048	92,867	86,400	141,806
	広葉樹	63,159	72,898	73,620	57,642	63,181	10,090	41,498
	計	170,527	189,451	159,965	157,690	156,048	96,490	183,304
国有林	針葉樹	35,528	51,178	52,612	44,836	35,692	45,039	31,097
	広葉樹	4,766	9,472	4,890	6,018	4,979	3,701	2,387
	計	40,294	62,509	57,502	50,854	40,671	48,740	33,484
管内計	針葉樹	142,896	167,731	138,957	144,884	128,559	131,439	172,903
	広葉樹	67,925	82,370	78,510	63,660	68,160	13,791	43,885
	計	210,821	250,101	217,467	208,544	196,719	145,230	216,788
県計	針葉樹	1,171,500	1,208,000	1,238,000	1,238,000	1,112,000	1,228,000	1,278,000
	広葉樹	302,500	281,000	276,000	281,000	243,000	203,000	183,000
	計	1,474,000	1,489,000	1,514,000	1,519,000	1,355,000	1,431,000	1,461,000

資料：岩手県の木材需給と木材工業の現況（令和4年次）（県林業振興課）

### (2) 木材の流通・加工

- 管内には、素材市場である岩手県森林組合連合会の宮古木材流通センターがあり、スギを主体として年間4,828 m<sup>3</sup>（令和4年次）を取り扱っています。  
取扱量は管内の素材生産量の2.2%ほどですが、地元製材工場等への原木供給の役割を担っています。
- また、宮古市内に大規模な合板工場や集成材工場、フローリング工場が集中しているほか、管内一円に製材工場やチップ工場などが点在しており、県内でも有数の木材製品生産地となっています。
- 東日本大震災津波により多くの木材加工施設が被災しましたが、国の復旧事業を活用し、被災施設等の早期の復旧を図りました。

【表-19】主な木材加工工場（令和3年）

区分	製材工場	チップ工場	フローリング工場	合板工場	プレカット工場	集成材工場
宮古市	9	3	1	1	2	2
山田町	3	1	—	—	—	—
小計	12	4	1	1	2	2
岩泉町	2	2	—	—	—	—
田野畑村	—	—	—	—	—	—
小計	2	2	—	—	—	—
管内計	14	4	1	1	2	2
県計	121	45	3	3	18	9

資料：宮古農林振興センター林務室、岩泉林務出張所、令和4年度版岩手県林業の指標（農林水産企画室）

### (3) 木材利用の促進

- 平成 13 年、企業間ネットワークの構築や産学官連携を推進することを目的とした「宮古・下閉伊モノづくりネットワーク」が設立され、このうち素材生産、製材・加工、建築設計等の関係者で構成された林産部会では、地域で生産される木材を使用した、地域資源循環型の「みやこ型住宅」を提唱し、その普及啓発に取り組んできました。
- 平成 19 年には、林産部会の構成員を中心として、「みやこ型住宅」づくりのシステム構築等を目的とした「明るい太陽と緑豊かな森の家『みやこ型住宅』ネットワーク」が組織され、住宅見学会等を実施するほか、東日本大震災津波後には、岩手大学及び岩手県立大学等と連携し、「復興住宅『ぬぐだまり』」と名付けた復興住宅モデルを作成、モデルハウスの建設を実施するなど、県産木材を利用した住宅建設の促進を通じた地域の復旧・復興に貢献してきました。
- 現在、地域の木材を利用した住宅建設に対し、県・市町村による支援が行われているほか、公共施設等の木造化・内装木質化が進められています。

【表-20】公共施設等における地域材利用の取組事例

施設名	概要	備考
イーストピアみやこ（市本庁舎・保健センター・市民交流センターの複合施設）(H30)	市民交流センターの掲示板、総合窓口カウンター、交流プラザのテーブルとイス、ふれあい広場の建具等に、市の木であるアカマツのほか、ナラ、オノオレカンバなど多様な木材を利用	H31 いわたの木材利用優良施設コンクール知事賞受章
		
【写真】左：宮古市民交流センターふれあいひろば、右：同交流プラザ		
三陸鉄道(H30)	広葉樹材を三層に積層した「広葉樹クロスパネル」を加工して製作した木製吊り手を車両内に設置	R1 2019 ウッドデザイン賞受賞
		
【写真】三陸鉄道車内木製吊り手		

施設名	概要	備考
道の駅たのはた思惟の風(R2)	一般流通しているアカマツやスギの製材品を組み合わせたトラス構造を採用し、天井が高く開放感のある大空間を実現	R3 いわたの木材利用優良施設コンクール知事賞受賞



【写真】道の駅たのはた思惟の風

#### (4) 木質バイオマス利用の促進

- 管内では、休暇村陸中宮古の宮古姉ヶ崎オートキャンプ場で、チップボイラーが導入されたほか、木材加工施設における木材乾燥機や加工機械に対する熱供給を図るため、製材端材等を用いた木質バイオマス利用ボイラーが導入されています。

また、令和5年度には、(株)岩泉きのこ産業(菌床しいたけ生産施設)に県内初となる廃菌床専焼のボイラーが整備されました。



【写真】(株)岩泉きのこ産業の廃菌床ボイラー

- このほか、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が平成24年7月から施行され、(株)ウツィかわい(宮古市)が、本県初※となる木質専焼の木質バイオマス発電所及び木質破碎施設を整備し、平成26年5月から本格稼働を開始しました。

※ 石炭混焼も含めると日本製鉄(株)釜石製鐵所の発電施設が平成12年に稼働している。

【表-21】(株)ウツィかわい区界発電所の概要

項目	数量等
ボイラー型式	タクマン-1100FH流動層ボイラー
使用燃料	木質チップ(未利用間伐材等)
発電出力	5,800 kW
工場内使用	800 kW
送電出力	5,000 kW
燃料消費量	6.9t/h(年間約9万t)



## 9 特用林産物

- 昭和40年代から、農林複合経営の柱の一つとして、豊富な広葉樹資源等を生かしたいたけなどの特用林産物の生産を奨励したことなどから、管内ではしいたけ、まいたけ、まつたけ、わさび等の生産が盛んに行われています。
- 乾しいたけは、担い手の高齢化に加え、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の影響により生産量が激減し、ピークとなった平成4年の12%まで減少しました。  
原発事故に伴う放射性物質の影響により、山田町の露地栽培原木しいたけについて、平成24年に国から出荷制限指示が発出されましたが、栽培管理の徹底等に取り組み、安全性が確認されたことから、平成26年から令和6年までに生産再開を希望する生産者22名の制限が解除されました。
- 生しいたけは、大規模な菌床栽培施設の導入により生産量は年々増加してきましたが、原発事故などの影響により、平成22年をピークに減少に転じています。
- まつたけの生産量は約10tで県全体の91%、わさびの生産量は268tで県全体の82%を占め、ともに県下一の生産量となっています。

【表-22】 しいたけ生産量

(単位：年次、kg)

区分		H4	H22	R1	R2	R3	R4	R5
乾しいたけ	宮古市	87,745	19,316	8,835	8,045	4,657	6,612	4,802
	山田町	21,730	16,070	4,674	3,403	3,871	5,430	4,565
	小計	109,475	35,386	13,509	11,448	8,528	12,042	9,367
	岩泉町	31,425	7,910	3,837	4,262	3,746	4,357	3,823
	田野畑村	20,448	3,472	2,181	3,811	7,502	4,323	5,768
	小計	51,873	11,382	6,018	8,073	11,248	8,680	9,591
	管内計	161,348	46,768	19,527	19,521	19,776	20,722	18,958
県計	932,935	201,131	111,252	119,658	98,413	94,183	82,349	
生しいたけ	宮古市	62,369	13,176	2,670	1,796	1,321	1,883	1,804
	山田町	7,000	2,381	998	997	655	580	612
	小計	69,369	15,557	3,668	2,793	1,976	2,463	2,416
	岩泉町	75,546	1,807,674	1,114,970	1,076,335	1,030,950	1,014,886	907,408
	田野畑村	45,119	1,107,937	426,384	401,293	287,732	273,967	292,641
	小計	120,665	2,915,611	1,541,354	1,477,628	1,318,682	1,288,853	1,200,049
	管内計	190,034	2,931,168	1,545,022	1,480,421	1,320,658	1,291,316	1,202,465
県計	2,680,477	6,919,220	4,253,845	4,733,498	4,659,907	4,391,821	4,291,820	

資料：令和5年特用林産物統計表（県林業振興課）

【表-23】 主要特用林産物の生産量（令和5年次）

(単位：kg)

区分	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	管内計	県計
乾しいたけ	4,802	4,565	3,823	5,768	18,958	82,349
生しいたけ	1,804	612	907,408	292,641	1,202,465	4,291,820
なめこ	313	23	3	-	339	4,432
まつたけ	2,035	4,548	2,269	920	9,772	10,766
まいたけ	7,376	19	78	-	7,473	52,029
わさび	29,959	-	237,898	-	267,857	326,744
くり	341	-	-	-	341	2,114
くるみ	68	-	62	-	130	284
木炭	9,445	-	38,955	1,350	49,750	1,399,159

資料：令和5年特用林産物統計表（県林業振興課）

注：わさびには葉柄わさびを、木炭には粉炭を含む。



## 10 森林組合・生産森林組合

- 管内には3つの森林組合があり、このうち宮古地方森林組合は、昭和49年に宮古市、旧田老町、山田町、旧新里村、旧川井村の5組合が合併して誕生した広域合併組合（県内の広域合併第一号）です。

【表-24】管内森林組合の概要（令和3年度実績）

組合名	区域内民有林面積 (ha)	組合員数 (人)	役職員(人)			雇用労働者数 (人)
			理事	監事	職員	
宮古地方	92,468	2,279	10	3	13	22
岩泉町	61,168	1,409	9	3	5	21
田野畑村	11,863	261	5	2	3	7
管内計	165,499	3,949	24	8	21	50
県平均	43,488	2,399	11	3	11	23

資料：団体指導課調べ

- また、9の生産森林組合がありますが、木材価格の低迷や組合員の高齢化等により、生産森林組合としての活動は低迷しており、素材生産等の事業収入があるのは一部の組合にとどまっています。

## 11 森林の保健・文化・教育的利用

- 管内では、三陸復興国立公園、早池峰国立公園、外山早坂高原県立自然公園が指定されているほか、生活環境保全林整備事業などにより整備が行われ、保健・文化・教育の場として活用されています。

【表-25】保健・文化・教育の場の整備状況

(単位：ha)

市町村	名称	区域面積	備考(導入事業名)
宮古市	十二神自然観察教育林	120	国有林野活用 十二神自然観察教育林整備事業(市単独事業)
	宮古市野外活動センター	2	
	臼木山生活環境保全林	13	生活環境保全林整備事業ほか
	豊かな森林(久保田山)	82	豊かな森林づくり事業
	新里森林総合利用施設	154	林業構造改善事業
	森林総合促進事業休憩(避難)施設 (げんべえ小屋)		森とのふれあい施設整備事業
	宮古市タイムグラ観光施設 バンガ ロー村	1	川井村バンガロー村整備事業(村単独事業) 森とのふれあい施設整備事業
区界高原ウォーキングセンター	1	自然環境保全活動拠点整備事業(ふるさと自然の みち整備事業)	
山田町	四十八坂町民の森	35	林業構造改善事業 保健保安林施設整備事業
	大釜崎自然歩道	70	国有林野活用ほか
岩泉町	御殿崎自然休養林	4	国有林野活用、森林総合整備事業 御殿崎自然休養林整備事業(町単独事業)
	早坂高原環境林	76	早坂高原環境林整備事業 みどりの景観整備促進事業 生活環境保全林整備事業
田野畑村	北山崎森林公園	43	林業構造改善事業 生活環境保全林整備事業 みどりの景観整備促進事業
	明戸浜園地	6	多目的保安林整備事業(津波により被災)

# トピック1 宮古市刈屋地区等林野火災の復旧対策

## 1 現状と課題

(1) 令和6年4月20日(土)午後12時50分頃、宮古市刈屋地区から出火した林野火災は、折からの強風に煽られ延焼拡大し、186.6haを焼失しました。

ア 被害面積 186.60ha うち人工林 100.08ha

イ 被害額 342,939千円

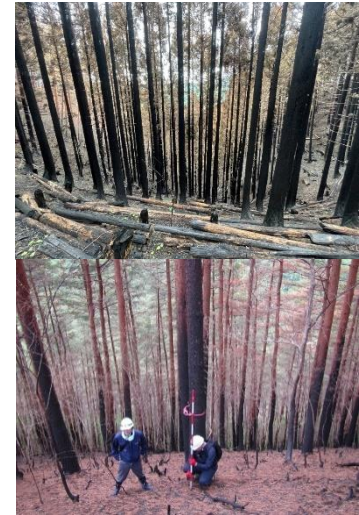
(2) 林野火災の被災地は、急峻な地形で、かつ林内路網が貧弱であるため、

ア 可能な限り早期に林内路網を整備し、復旧作業ができる環境を整え、被害木の伐採や植林、天然更新により森林の公益的機能の回復を図ること

イ 土砂流出による被害を防止するための治山ダムなどの防災施設を必要に応じて設置し土砂流出防止対策を図ること

ウ これらの復旧にあたっては、森林所有者からの負担を求めない復旧対策を提案すること

に留意して復旧を進めていくことになりました。



## 2 取組状況

(1) 復旧計画方針の策定

市、県、森林組合、消防で組織する林地再生対策協議会で復旧計画方針を検討し、9月13日に最終決定しました。

ア 被災地のゾーン区分

被災地を2つのゾーンに区分し、それぞれ治山事業や森林整備事業等を活用して復旧していくこととしています。

① 森林保全・防災ゾーン

森林の公益的機能の発揮と防災施設の設置による保全を図る区域(治山事業を活用)

② 新しい林業経営ゾーン

森林経営管理制度の導入などで保全を図る区域(森林整備事業を活用)

イ 復旧期間

令和6年度から9年度までの概ね4か年間

(2) 作業道の開設、補修

林内路網が脆弱であったことから、宮古市が主体となって、作業道の新規開設及び既存路線の補修を行いました。



被災森林のゾーニング

## トピック2 原木しいたけ生産振興の取組

### 1 現状と課題

(1) 管内（宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村）は、民有林面積の約6割を占める豊富な広葉樹資源を活かした原木しいたけ栽培が行われており、全国規模の品評会で最高位である農林水産大臣賞を数多く受賞するなど、高品質の乾しいたけが生産されています。

(2) 東京電力原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、管内では現在も山田町で出荷制限指示が継続しており、出荷制限が解除された生産者はもとより、他の市町村の生産者も放射性物質濃度の全戸検査が必要となっています。

また、市場価格の低迷や原木価格の高騰をはじめとする生産原価の上昇に伴い、生産者の経営環境が悪化していることから、生産性の向上や販売促進につながる販路の開拓が必要となっています。

### 2 取組状況

(1) 安全・安心な原木しいたけを供給するため、市町村・森林組合・農業協同組合と連携しながら、放射性物質濃度検査を実施するとともに、栽培管理の徹底を指導しています。

(2) 生産者団体及び関係機関・団体で構成する「宮古・下閉伊地方原木しいたけ生産推進協議会」が行う取組を支援しています。（一部地域経営推進費を活用）

#### ア 生産技術向上の取組支援

優れた生産技術の継承や、生産者の技術研鑽及び相互交流の促進に向けた「宮古・下閉伊地方乾しいたけ品評会」及び生産技術交流会の開催

#### イ 原木しいたけ販売促進の取組支援

(ア) 販売会等における産地PR等の活動

(イ) 産直施設におけるメニュー提供や販売会等、原木しいたけ消費拡大に向けたキャンペーンの実施



【写真】 右上：「原木しいたけを食べようキャンペーン（令和6年11月～12月）  
左：宮古・下閉伊地方乾しいたけ品評会授章授与式（令和6年6月）  
右下：生産技術交流会（令和6年11月 岩手町）

## トピック3 岩泉町における畑わさび生産振興の取組

### 1 現状と課題

- (1) 岩泉町では古くから沢々にわさびが自生しており、その産地化を目指し、昭和49年頃から盛んに「わさび田」の造成が行われました。  
しかし、大雨による増水に伴う土砂の流入やわさび田の流失等が影響し、生産拡大には繋がりませんでした。
- (2) 昭和59年頃から、広大な森林と夏季の冷涼な気候を生かした林間でのわさび（畑わさび）栽培の取組が始まり、特に加工わさびの原料（原料用わさび）として加工メーカーへの販路が確保されてからは、安定的な出荷が可能となり生産量が大きく増加しました。
- (3) 令和5年度において、岩手県の畑わさび生産量は305トンと、全国第1位となっており、国内シェアの約53%を占めています。中でも岩泉町は、県内生産量の約7割を占める県内一の生産地となっています。
- (4) 一方、近年、高齢化に伴う生産者数の減少、シカによる食害、栽培に適した圃場の確保等への対応が課題となっています。

### 2 取組状況

- (1) 町では、昭和60年から実生苗の購入や基盤整備等の助成を始め、作付面積の増加に伴う安定的な苗の供給確保のため「わさび育苗施設」を平成3年と平成30年に整備したほか、平成8年から県単独事業を導入し、労働の軽減が期待される平坦な圃場の新規造成に取り組んできました。また、地域おこし協力隊等による新規生産者の確保やシカ被害防止柵設置の助成についても取組が行われています。
- (2) 県では、圃場の確保に向けた支援として、生産者に対する県有林の林地の貸付を行っており、県有模範林高須賀事業区（岩泉町安家地内）をはじめとした岩泉町内の貸付面積は、近年は20～30ヘクタールで推移しています。間伐など森林施業との兼ね合いを調整しながら、生産者の要望に応えられるよう圃場の確保に取り組んでいきます。  
また、農業改良普及センターでは、栽培技術の指導や圃場見学会の開催などの新規参入者確保に向けた取組を行っています。



【写真】畑わさびの栽培状況（カラマツ林の林床利用） 左：植付の直後、右：出荷の直前